

2009年7月8日
グリーン・グリッド (The Green Grid) 広報事務局

<ご参考資料>

「データセンター・デザインガイド」日本分科会が発足 データセンターのアーキテクチャ全体の設計ガイドの策定を目指す

データセンターおよびビジネス・コンピューティング全般のエネルギーの効率化に取り組む世界規模のコンソーシアムであるグリーン・グリッド(The Green Grid、本部:米国オレゴン州ビーバートン)の日本支部は、本日、技術委員会のもとに「データセンター・デザインガイド」の日本分科会を発足させ、このプロジェクトを日本で本格的に開始します。

「データセンター・デザインガイド」は、エネルギー効率の高いデータセンターの運営と構築の指針を作成するために、2009年にグリーン・グリッドが取り組んでいる世界規模のプロジェクトです。業界標準となる、包括的なデータセンター設計ガイドを策定し、2010年に初版の完成を目指しています。現在、標準化に必要な指針と重要な機能の改善について議論が進んでいます。このたび専門の分科会が発足したのは、日本のデータセンターの特殊性をこのガイドに反映させることにあります。日本分科会は、日本における環境、規制などを把握して、グローバルなデザインガイドを日本でも正しく活用するための支援を行います。また、日本が世界をリードする先進的な技術やノウハウについて、的確にデザインガイドに取り込むための活動を行うことを目的とします。

まずは以下の領域に特化して、グローバルへの提言を行っていきます。

1. 施設関係(電源、空調、構造、計測機など)
2. 運用(マネージメントソフトウェアを含む)
3. データセンター事業者の観点(ビジネスモデル、既存の建物・運用に関する改善など)

施設関連企業や建設業者からの参加を幅広く募るとともに、施設の入退場管理も重要な要素となるため、センサーや計測器メーカーとの意見交換を期待しています。

データセンターのアンケート調査

グリーン・グリッドの日本支部は、昨年5月の発足以来、グリーン・グリッドの指標 PUE(注)の認知・啓蒙活動を進めています。今年2月には、経済産業省の「データセンターのエネルギー効率指標に関するアンケート」調査を、グリーン IT 推進協議会と共同で支援しました。調査には、グリーン・グリッドがグローバルで実施したアンケートの調査項目や回答の選択肢が取り入れられました。また実際の調査票作成、さらに調査結果の分析を支援しました。調査の結果、日本のデータセンターに関して、以下のような特徴がみられました。

- グローバルと比較すると、高品質のデータセンターの比率が高い
- 約70%のデータセンターが、「データセンター全体の電力消費」、「温度・湿度」を計測している
- 約7割が PUE を理解している

▶ 約4割がPUEを測定している。(グローバルの調査は、7割)

一方で、電力を計測していない理由としては、「測定のための設備、設定がない」「誰からも、エネルギー効率情報の要求がない」という回答が多くみられました。

またデータセンターの品質レベル別のPUEの測定値は、日本ではミッションクリティカル向けなど高度なデータセンターほど、PUEの値が改善されています。これは一般的なデータセンターでは、エネルギー効率化の余地が十分あることを示しています

注) : PUE (Power Usage Efficiency) はデータセンターのエネルギー効率を示す指標。

フリー・クーリング・マップ日本版

データセンターの冷却に外気を活用するために、利用できる無料オンラインツールと日本のクーリングマップ(外気冷却マップ)の提供を開始します。日本全国42か所の気象データが集められ、冷却に活用できる外気の分量を簡単に試算できるツールとなっています。このクーリングマップを使用することで、既存のデータセンターは、現在の環境における外気利用の効果と可能性を視覚化して、改善案の作成の参考情報を獲得でき、新規データセンターでは、その立地で期待できる効果の目安を取得できます。グリーン・グリッドのウェブサイトマップ並びにツール(日本語版)は8月中に利用できるようになります。

グリーン・グリッド・アカデミー日本語版

電力消費に対する意識をさらに高めるため、オンライントレーニングツール「グリーン・グリッド・アカデミー日本語版」の提供を本日から開始します。PUEなどを利用して、データセンターの電力使用状況を計測する方法を学べます。9月1日から一般に公開され、グリーン・グリッドのウェブサイトからどなたでも無料でアクセスできます。

日本では、技術ワークショップの定期的な開催、ホワイトペーパーの日本語化などの活動を通じて、グローバルの情報を日本の会員に伝えています。

グリーン・グリッドは今後もエネルギー効率化のために、より多くの企業や関係団体との協力関係を構築し、業界全体でより積極的な取り組みを推進していきます。

グリーン・グリッド日本委員会について

2008年5月にコミュニケーション委員会とデータ調査委員会が発足。活動の領域を広げるため、2009年5月にデータ調査委員会は技術委員会に昇格しました。現在の邦人会員は18社で、推進会員は発足時の3社から7社に増加しています。

グリーン・グリッド会員の邦人企業一覧は、以下の通りです。 ※アイウエオ順

推進会員

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
株式会社 NTT ファシリティアーズ
東京電力株式会社

一般会員

株式会社インターネットイニシアティブ
NTTコムウェア株式会社
株式会社 NTT データ

日本電気株式会社
株式会社 野村総合研究所
株式会社日立製作所
富士通株式会社

KDDI 株式会社
さくらインターネット株式会社
株式会社 IDC フロンティア
ダブル・アイ・テー・ジャパン株式会社
TIS 株式会社
富士通エフ・アイ・ピー株式会社
ネットワンシステムズ株式会社
株式会社ネットマークス

グリーン・グリッドについて

2007年に設立されたグリーン・グリッドは、世界各地の企業、政府関連、教育機関などによって構成される業界団体として、データセンターおよびビジネス・コンピューティングにおけるエネルギーの効率化を推進しています。グリーン・グリッドは、特定企業の製品あるいはソリューションを推奨するのではなく、データセンターにおけるエネルギー効率の改善に必要なベストプラクティス、指標および技術を業界全体の視点から提供することを目指しています。データセンターのエネルギー効率化に関心のある企業・団体は、推進会員、一般会員、アソシエイト会員としてご参加いただけます。

グリーン・グリッドに関する詳細については、www.thegreengrid.org/japaneseをご覧ください。

###

【読者からのお問い合わせ先】

グリーン・グリッド事務局 Eメール: admin@lists.thegreengrid.org

【報道関係からのお問い合わせ先】

グリーン・グリッド広報担当(フォーカスト・コミュニケーションズ株式会社) 水本/中村
電話: 03-5157-0033 Eメール: japanpr@lists.thegreengrid.org